

生命の尊厳と地球環境蘇生運動に向けて
STSプロジェクト東京支局たより

ハーモニー ウェーブ
Harmony Wave

Vol.36 2018年2月

発刊元: (株)エステーエスプロジェクト 東京支局
〒108-0023 東京都港区芝浦2丁目17-10 新大友ビル6F
TEL:03-6435-3428 FAX:03-6435-3429
ホームページ: <http://www.stspro.com/>



地球環境蘇生セミナー 東京 2018年1月14日(日)

還元のプログラムへの提言

東京のこの日は、厳しい寒さの中休みのような、穏やかな天気恵まれ、全国から予想人数を超える174名の参加があり、会場は熱気で満たされた。

体験発表



なかやま なおき 中山 直樹さん

2012年に登録し、会員となった。自分は、自己紹介するときに言うフレーズがある。それは「薬を使わない人」である。17歳から、薬というものは一切口にしていない。これまでも、体調を崩すことはあったが、自分の病気は自分の力で治せるという確信のもと、回復し、現在もその後遺症などはない。代表の印象は、セミナーや支局でのお話を聞いて、今まで出会って来たどんな人よりも、知識が豊富で、専門外だと思ふことを問うても、的確

な返答が返ってくる。それには毎回驚かされる。そんな方が作った製品。私にはすべて魅力的であり不思議なモノ。そして、STSの環境蘇生運動にとても共感している。自分の人生を素晴らしい人生にするための後押しになるものがSTSだと思っている。もっと、もっと、仲間を増やしたい。たくさんの人から、また人へと繋がり、広がるように。自分の周りから始まり、やがて社会を変えることができているのがSTSだと確信している。まずはSTSに興味を持ってほしい。次は、月に一度開かれる、東京支局での交流会に、私は仲間として皆さんの参加を待っている。

代表講演



◆本当の答えとは

現代の状況は、エネルギー問題、食、農業、健康など問題が山積み。その対策は、その場のしがが多く、つまり、対症療法ばかりなのではないか。地球は137億年前にビックバンにより発生した銀河の一部である。今の定説では約40億年前に最初の生命が発生し、やがて人となったとある。この計算は誰が行い、答えが決まったのか？

それは本当に正しいのか。この世界には疑問に思うことが多い。私は、ビックバンは世交代のように止めどなく継続していると考えている。

◆生命は電気信号で生かされている

糖鎖線は人間の一つの細胞に、数千から数万本存在している。この糖鎖線同士の間は電気信号で、この信号により私たちは生命活動が可能となり、生かされている。受精すると、そこにはスパークが起こり、まず耳の細胞ができる。そのあと胎盤が作られていく。なぜ、まず耳の細胞なの



会場の様子

か？それは、信号を受け取るために、受け取れるモノが必要だから。私たちは、電気信号を受けて育つ。宇宙の信号は非結晶であり、私たちの遺伝子は、地球誕生からの情報を持っている。遺伝子の中に隠れている裏の部分と、表に出る部分が存在する。電気信号で情報とエネルギーの良い物を区別し、伝えていく。それが水の役割である。今、様々な研究が進み、ガン細胞の中には全て、歯周菌が存在しているといわれている。ガンもウイルスであり、口から体内に入る。口は、生きていくために必要な、呼吸、食を担っている。食事の時、よく噛むことは大切といわれるが、噛むことで、多くの唾液を分泌し、歯と歯が当たり電気信号が発生。その信号が脳に伝わり、消化のプログラムが作動する。情報とエネルギーの伝達である。

◆食の現状

8本の糖鎖をつくるのに必要な内2本は植物に存在し、食することで体内で作られるという。しかし、今、食物が健康ではない。昔のように食物から糖鎖を作り出すことは、大変困難なこととなった。その原因の一つに、種の組み換えがある。植物はこれまで経験し、進化の中で獲得してきた情報をすべて記憶している。地球の6回の氷河期の経験も然り。しかし、種の組み換えによって、その情報を切り、別のものと組み合わせ、てしまえば、いまや、原種はほとんど無い状態。このような不健康といえるものを食べていけば、当然私たちの体は異物と判断していく。

◆環境に由来する私たち

人は、人種という区別をもっている。しかし、染色体の状態

で見ると、違いはなく、最初はみな同じ。環境が遺伝の中で構築され、発生して行く。私たちはアジアに住む、黄色人種。これはそこに住まう環境に適している。判断したから。地球の70%は水、私たちも誕生した時、同じく70%が水分である。それは不思議なことではなく、生まれてくる環境に同位するということなのである。自分が健康に生きるには、環境が健康でなければ、叶わない。例えば、大気中の酸素の21%を多くすれば、生きやすいのか？90%にすれば、皮膚はやけどのようになる。そこにあつた割合がある。

◆還元のプロセス

我々の周りには、酸化のプログラムがほとんど。これをいかに、還元のプロセスに転換できるか

が、健康で長生きする秘訣。例えば、火傷。これは、皮膚が熱により一気に酸化状態となり、体の反応として冷やそうと水ぶくれができる。しかし、STSの科学で還元のプロセスを応用すると、水ぶくれを作らず、跡にもならない。また、痛みも継続しない。という体験をたくさん聞いた。私たちは、自己免疫プログラムを持つ。大変優れた生き物といえる。遺伝子の情報には、必ず宇宙のビッグバンを経験した記憶をもつ。今、必要なのは、誕生時の状態である「初期化」を目指すこと。自然界の雷の仕組みを知っているだろうか。

水分が蒸発し、気化されていく。水滴の一つ一つにはN極とS極が存在し、雲を形成していく。雲の中が飽和状態となり、一気に放電する。これが雷。大気中の

窒素、酸素が電気分解によりイオン化され、雷の後の空気はキレイに感じる。この仕組みを応用し製品化したものが、クリスタル・セラ。セラの中でプラズマ放電として雷を常に生成している。このように、自然界に存在しているものから多くのヒントを得て、それが自然であるかと問い、製品を開発している。



◆未来型エネルギー

太陽にも寿命がおとずれる。我々は、太陽からの光で光合成し健康に生きられる。この光が無くなってしまうと、どうなるのか？そこで、必要なものは、未来型エネルギーである。例えば、STS半導体塗料添加剤を利用したビル街になると、そこに存在する、風、光、雨、温度など全てが変換され、還元のプロセスになる。このような科学を私は未来型エネルギーと呼んでいる。このエネルギーをも、受け取る器がハーモニーウォーターである。しかし、このエネルギーを妨げる大きな要因は、想いの方向性。見えないが確かに存在している。見えるモノはわずか1%、見えないモノが99%。この見えないモノに支えられている。見えないプログラムの4つの元素を利用したものが、半導体塗料添加剤。未来型エネルギーの置換交換を可能にする。室内の壁に塗装すると、人は一人100Wのエネルギーを持つといわれるが、人が動くことにより、そのエネルギーが動き、塗料の壁のエネルギーと反響し合えば、摩擦抵抗を発生させると、半

導体塗料添加剤はその環境の最適を判断し、温度が高ければ、マイナスイオンを発生させ、逆に温度が低ければ、電子を熱に交換する。健康で長生きを目指すには、ものの見方、捉え方を変え、未来型エネルギーの利用をおおいに活用すべきだ。

◆これから

次世代に残すものは、安心して生きられる土俵を残すこと。活かせる科学とテクノロジ、心の在り方が大切。生命の電気信号をしっかりと受け取る器がハーモニーウォーター。だから皆さんに持つて欲しい。STSのテクノロジは、豊かに生き、人生を謳歌できるよ、アイテムとして皆さんに渡している。あとは、どう使うか、しっかり学んで選択し、使ってほしいと切に願う。

2018年2月～2018年3月 セミナー日程 (13:30～16:00)



2/18(日)	静岡交流会	静岡支局内
3/11(日)	秋田セミナー	本社2F

- ・支局では、ハーモニーウォーターのお試し水汲み、学習会を行っています。日時詳細や内容はメールでお知らせしています。
- ・メール登録、メンテナンスの相談は支局へお問い合わせください。

〔編集後記〕

各家庭から日々流れているハーモニーウォーターと、地道な運動の積み重ねで、未来ある新しい時代への大きな飛躍を遂げていきましょう。



【雪の田町】